



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

防衛医科大学説明会 ～同郷の強みを活かして～

2等陸曹 武井 健司



自衛隊群馬地方協力本部前橋募集案内所（所長 2等陸尉 土屋章）は、令和6年8月10日及び18日に、前橋市中央公民館において参加者計15名に対し、防衛医科大学説明会（10日看護学科、18日医学科）をそれぞれ実施した。

説明会には群馬県出身の現役学生がそれぞれ駆けつけ、同郷の後輩獲得のため尽力してくれた。説明会は学校及びそれぞれの科についての概要説明、現役学生との懇談及び質疑応答を実施した。

懇談では、現役学生から参加者に対し、受験を経験した者だからこそのわかる苦悩や対策、入校から現在に至るまでの日々の生活など、貴重な話を聞くことが出来た。また、最初は緊張していた参加者も、所長の雑談を交えた進行により終始和やかな雰囲気で終えることができた。

参加者からは「防衛医科大学校について知れて良かった。並木祭にも行ってみたい」「大学生活が想像していたよりも楽しそうでした」等の感想を聞くことが出来た。

防衛医科大学校では入校後、全国から集まった同じ志しを持つ同期や先輩・後輩と卒業までの数年を共に過ごし、卒業後は全国各地の自衛隊病院または部隊等で勤務することとなる医官・看護官にとって、学校で培った上下左右の繋がりは言うまでもなく強みである。

しかし、今回の説明会を通して感じたのは「同郷」の強みでもあった。日々、受験の重圧と戦っている受験生にとって、受験から入校、生活に慣れるまでの間は特に不安が大きい。今回の説明会を通して、気軽に頼れる将来の同郷の先輩と知り合えたことは大変心強いのではないだろうか。今回の参加者が無事試験に合格し、来年はリクルーターとして群馬県出身者をサポートする立場としてまたこの場に戻ってきてくれればと願う。

前橋募集案内所では、今後も地域の繋がりを大切に、先輩獲得に邁進するとともに、良好なパイプラインを継承していく。

